

スペース 中期経営計画

(株)スペース(東京都中央区)は、2023年12月期(25年12月期を対象とする)新中期経営計画を策定した。期間内は、売上高成長率5%(工事完成基準による)、営業利益率5%の達成などを目標とし、ソフトプロデュースやハードプロデュースの進化、地域活性化への参画、グループシナジーの發揮などに取り組む。今回の新中期経営計画は、前回計画を踏襲し残された課題に継続して取り組みつつ、ビジョンの発展に向けた取り組みを行う。テーマは「進化発展」とし、①売上高成長率5%、

売上高成長率5%へ 地域活性案件100件など

②「営業利益率5%」、③「全社員活躍の実現」、④「顧客提供価値の向上」を目標とする。①は20年12月に一度落ち込んだものの、以降は順調に伸びており、これを確実に成長させていく。②は17年12月期、18年12月期に営業利益率7・2%としたものの、20年12月期は同3・4%、21年12月期は同5・3%となった。22年12月期第3四半期時点では同4・4%となっており、25年12月期に再び同5%を目指す。④では地域活性案件取り組み件数100件、サステナブル活用案件率30%とする。事業発展戦略において⑤「ソフトプロデュース力の進化」、⑥「ハードプロデュース力の進化」、⑦「地域活性化への参画」、⑧「グループシナジーの發揮」に取り組む。⑤はクリエイター人材の育成、外部ネットワークの拡大、マーケティング組織の確立、⑥は現場から選ばれるコンテンツの開発導入、組織化・適正配置による施工技術者の育成、パートナー企業の拡充、⑦は公民連携事業への取り組み強化、大阪・関西万博および周辺事業への参画、地方事務所の営業力強化、⑧はPM事業への人的投資による商業コンサルティングの強化、デジタル技術の実装、海外新規拠点の開拓を掲げる。

